誰もが抱える悩みをパパッと解決！

福田貴一先生の福が来るアドバイス

中学受験で実力を発揮するために読書で育てる読解力！

中学受験を無事に突破するために欠かせない力のひとつに読解力があります。読解力がなければ、国語の問題が解けないのはもちろんのこと、算数や社会、理科、どの教科も正しい答えを導き出せない可能性があります。では、どのようにすれば子どもたちに読解力を身につけさせることができるでしょうか。その秘密は低学年からの読書にあります。

早稲田アカデミー
千葉ブロック統括責任者
新浦安校 校長　福田 貴一

低学年からの読書が読解力を身につける秘密

書かれた文章を正しく読み取り、理解するために必要な読解力。この読解力は、ある程度であれば高学年になってからの勉強で身につけさせることができます。しかし、実際には国語の記述問題や算数の文章題など、読解力の有無で大きく差がついてしまうのも事実です。

その原因を探ると、小さな頃からどれだけ自然に読解力を身につけてきたかにあるようです。つまり、小さな頃から培われてきた読解力があってこそ、高学年になってから、中学入試を勝ち抜く読解力が身につくのです。

読書は勉強ではない！

低学年から本を読ませるために、まずは、言葉に親しみを持たせるつもりで本を与えましょう。このとき注意しなければならないことが、読書を勉強と考えないこと。これは、読書を勉強時間に組み入れてしまうと、子どもたちは本が好きではなくなってしまうからです。意外に感じられるかもしれませんが、私の経験では、「読書をしなさい」と言われて本を読んだ子よりも、お母さんに隠れてでも本を読んでいた子の方が国語の成績が良いのです。なんとなくテスト前になると本を読んでしまう—、そんな子どもたちの「本を読みたい」といった欲望から行う読書こそ、確かな読解力を育てているようです。

本はご褒美として与えるもの

では、どのようにすれば子どもたちを本好きにさせることができるのでしょうか。そのひとつが、ご褒美として本を与えることです。しかも、親が読んで欲しい本を選んで買い与えるのではなく、子どもに本を選ばせることがポイントです。たとえば、何か良いことがあったとき、「ご褒美に本を買ってあげる」と、子どもを本屋さんに誘ってみてください。最初は何を選べばいいのか戸惑うでしょうが、とにかく読みたいと思う本を選ばせてみましょう。

このことを繰り返すうちに、「次はこの本を買ってもらおう」と、子どもたちが買ってもらいたい本をあらかじめ選ぶようになります。そうやって、自分で本選びができるようになれば、「本を読むことが楽しい」と思えるようになるはずです。

「本を読む」ことが大切

小さな頃から絵本を見たり、本を読んでもらったりすることが大好きだった子どもであれば、「好きな本を選んでね」と言えば、たとえ低学年であっても、一生懸命に自分が読みたい小説や物語、伝記などを探すことができるでしょう。

しかし、これまで本に触れてこなかった子どもや、読書が嫌いと思っている子どもに好きな本を選べと言っても、おそらく選ぶことはできないでしょう。選んだとしても、少年雑誌やコミックなどの漫画が描かれたものやゲームの攻略本など、読書とはかけ離れたものを選ぶかもしれません。

もちろん、漫画や攻略本を選んではいけないとは言いません。たとえ攻略本であったとしても、言葉に触れることそのものが、それまで知らなかった表現を知るなど、語彙（ごい）力を身につける機会になるからです。このように考えると、どのような内容の本でも、「言葉に触れる」という意味では効果が期待できるのです。

3冊選ばせることがポイント！

「攻略本で語彙は増えるかもしれないけれど、読解力が身につくのか心配。」そう思われるのであれば、子どもたちに本を3冊選ばせてください。すると、1冊目は漫画、2冊目は攻略本かもしれませんが、3冊目はお母さんやお父さんが納得できるような本を選ぶはずです。当然、自分で選んだ本なので、とりあえずは読んでみる—。これこそ、本に親しんでこなかった子どもに本を読ませるしかけです。この3冊の本選びを繰り返せば、最初は3冊目だった本が2冊目、1冊目になり、やがて3冊全てが読解力を身につけさせるような本になるはずです。

子どもが感想を言うまで親からは聞きださない

本を読むようになった様子を見ると、つい「どんな本だった？」と感想を聞いてしまいがちですが、これは絶対に止めましょう。常に感想を聞くと、子どもは感想を言うために本を読むようになります。このような読書では、どんなに本を読んでも読解力は身につきません。本当に読書が好きになった子どもなら、自然に内容を話すようになるので、そのときまで待つことも読解力を育む秘訣です。

ゆっくりと本が読めるのも4年生までです。ぜひ、読解力を身につけさせるためにも、今すぐにでも読書好きにするしかけを試してみてください。

お便りをお待ちしております

みなさまのお悩みに福田先生が紙面上でお答えします。下記のアドレスまでお寄せください。
メール：success12@shahyo.com
採用された方には、オリジナル福スタンプを差し上げます。